

橋本 五郎 講演会

プロフィール

現職 読売新聞特別編集委員

ノースアジア大学 客員教授

ノースアジア大学 教育諮問委員

履歴 秋田県山本郡琴丘町(現在の三種町)生

慶應義塾大学法学部卒業後、読売新聞へ入社。

入社後は、浜松支局の記者を皮切りに、読売新聞東京本社社会部記者、政治部記者、政治部次長、論説委員、政治部長、編集次局長を歴任。



「どうなる岸田政権」

開講日時▶ 7月10日(日) 午後1時30分～3時00分(開場 午後1時00分)
会 場▶ ノースアジア大学 40周年記念館 2階 271教場

講演内容

7月の参院選挙を乗り切れば、岸田首相には「黄金の3年」が待っている。衆院選挙は今後3年半しなくて済むし、次の参院選まであと3年ある。ということは選挙を気にしないで3年間は政治運営ができるということである。コロナ後の経済をどう立て直すか。「新しい資本主義」をどう具体化していくか。ロシアのウクライナ侵略を受けて、日本の安全保障をどう考えていくか。課題は山積している。一方、自民党内の権力構図を見ると、安倍元首相は最大派閥の会長であることを背景に、ますます岸田政権の政策への関与を強めていこう。菅前首相もわずか1年で挫折するという「不完全燃焼」だっただけに、ゆるやかなグループをつくって影響力を行使していくに違いない。若手議員も台頭してくるだろう。岸田首相は「聞く力」だけでなく、断固とした「決断の政治」を求められることになる。その行方を占って見よう。